

災害復興ボランティア 報告書

鴻巣市社会福祉協議会では、先の大震災により甚大な被害を受けた地域の復興を支援するため下記のとおりボランティアを募り活動をして参りましたので報告いたします。

日時：平成23年6月30日（木）～7月1日（金）

行先：福島県いわき市平薄磯中街11



○いわき市について

福島県浜通り南部にある市であり、中核市に指定され福島県内で最大の人口・面積を持っている。工業製品の出荷額は、東北地方で最も多く1兆900億円ある。また、多彩な観光資源があり、観光客は県内第1位の1102万人が訪れている。いわき市沖で寒流と暖流が交わる影響で、年間を通して寒暖の差が少なく、気候が安定しており、平野部・沿岸部では殆ど雪が降らない。

行程表

日時	行程（予定）	実際の状況
6月30日（木）23:30	鴻巣市役所に集合	集合時刻前には皆さん集まっていたいただき、受付もスムーズに行かない、出発予定時刻前にはバスが発車しました。
7月1日（金）0:00	鴻巣市役所を出発	
	羽生IC～ 東北自動車道 北関東自動車道 常磐自動車道	途中、佐野SAで休憩を取り、そのまま常磐自動車道中郷SAまで向かいました。 中郷SAでは、皆さんそれぞれに仮眠を取り、体を休めました。
	中郷SA～～仮眠・休憩・朝食～～	朝7:00より朝食を取りました。 ここでも皆さんの行動が早く、予定より約10分前に出発しました。
8時00分	出発	いわき市の災害ボランティアセンターに到着。受付をシオリエ
9時00分	いわき市到着	ンテーションを受け場所を確認した後、現地へ向かいました。
9時30分	活動開始	10:30過ぎから活動開始。途中休憩を入れてお昼まで活動。
12時00分	昼食・休憩	
13時00分	午後の活動開始	13:00過ぎに活動再開。気温も上がり熱中症に気をつけ活動。
15時00分	活動終了	2回休憩を入れ、15:00前に活動終了。片付け・着替えをし、
15時30分	現地出発 いわき湯本IC～羽生IC	現地の方に挨拶して帰路に。
20時00分	鴻巣着	予定到着時刻よりも早く市役所に着き、解散しました。

実際の活動風景



この写真は、時間と共に作業が進み建物内部まで入れるようになった光景です。大型のガレキは運び出されました。

作業開始前は建物内全体、天井近くまでガレキが詰まっており、内部まで入れる状況ではありませんでした。それを皆さん手作業で少しずつ外に運び出しました。



外に運び出している様子。運び出されたガレキは素材ごとに分別しました。



運び出したガレキが山になりました。

この後、地元の業者が重機を使いガレキをトラックに積み込んでいました。



作業終了時の光景。入り口から奥が見渡せます。

ボランティア依頼者も、ここまで作業が進むとは思わなかったようで、驚きと感謝の言葉を頂きました。



活動を終えて・・・

募集の周知期間が短かったにも関わらず、多くの方々から申し込みがありましたこと、大変感謝しております。ありがとうございました。

当日は集合時間前に全員が集合し、往復の道中や活動中においても地元の方・我々スタッフが出す声掛けや指示に対して適切に従って頂けたことは、参加された方々のボランティア活動に対する意識の高さの現われだと思えます。また熱中症の危険がありましたが、誰一人体調を崩すことなく活動を終えたことも皆さんに一致協力して頂けたおかげだと思えます。

最近では、メディアを通じてボランティアニーズの変化が報道されています。今後は本会としても、国や県からの情報、また社会的動向を見極めながら様々なボランティア活動の必要性を見極め、適切な判断・対応をしていきたいと考えています。

ボランティアの皆さん、ありがとうございました！！

